

業務品質認定団体から4つ星評価取得

株式会社T-ONE

認定取得までの経緯について
小澤社長、都築副社長に聞く



小澤社長



都築副社長



JIACA 4つ星認定証

保険代理店の業務品質の監査と評価認定を目的とする一般社団法人日本保険代理業認定協会(JIACA)ではこのほど、認定第一号となる代理店を輩出した。認定を取得したのは株式会社T-ONE(小澤正志代表)。高知県高知市に社を構える地域密着型の乗合代理店である。JIACAの審査は主に、経営審査、監査審査、計画審査の3つの観点で実施し、それぞれ一定の基準を達成した代理店を認定代理店として協会のお墨付きを付与する。認定ランクは5つ星から3つ星までで、T-ONE社は4つ星認定を取得した。認定取得までの経緯について小澤社長と都築弘典副社長に聞いた。

日本創倫の監査での指摘点改善が奏功 採用・育成計画の マニュアル化へ取り組む

—— 会社概要を。
小澤 株式会社都築保険事務所と私が経営していた有限会社トラスト・ワンが4年前に統合して、現在の株式会社T-ONEとなりました。
人員は役員4名、営業7名、事務6名の17名体制です。取扱保険会社は損保6社(代申…東京海上日動)、生保9社(代申…東京海上日動あんしん生命)。昨年の業績は損保一般収保が約8億円、手数料は損保が約1億4000万円、生保が約3000万円です。
—— これまでに外部による監査を受けたことは。
都築 JIACAの正会員会社である日本創倫の監査を毎年受けており、その都度、結構厳しい指摘をもらっては改善を施してきました。こうしたこともあって、今回のJIACAの審査では根本的な改善を必要とするような大きな指摘は受けていませんでしたが、細かい指摘は数多く受けました。
当社の場合はセキュリティ面についての指摘

が多く、例えば会社のパソコンにセキュリティチェーンをしていないとか、従業員一人ひとりの机の中が整理されていないとか、情報管理がなされていないか、といったようなものです。
小澤 FD宣言の内容についても指摘を受けました。それまで当社ではFD宣言はしていましたが、KPIについては達成しづらいような指標を設けており、公開もしていませんでした。そのため、KPIの指標を実現可能なものに改め、先日ホームページ上で公開しました。

—— 今回、4つ星(100点中75点)という高評価だったということですが。
小澤 足りなかった25点分は、やはり先ほどのFD宣言の改善を指摘されたところなどもあると思いますが、当社の将来を見据えた計画、具体的に採用育成計画がマニュアル化できていなかった部分もあると思っています。
これまで当社では、採用から育成までのプロセスを体系化しておらず、その都度採用が必要に応じて教育を施すというやり方でした。当社の規模くらいの代理店だと人材の定期採用などをするところまではいっていませんが、その場合であっても採用・育成の流れを

マニユアル化するようにした。

—— 今回の監査を受けて気づきや良かった点がありますか。
小澤 今後ますます私たちが保険代理店の体制整備の徹底が求められることを実感しているものの、セキュリティ面や採用・教育面の整備やFD宣言の内容の改善などについては、正直言って指摘を受けるまではそこまでしなればいけないとは思っていませんでした。ですので、指摘いただいた点はすべてありがたいと思っています。

—— 今後の抱負を。
小澤 今回、JIACAでは認定第一号をいただいたというのとはとてもいかなければいけないと思います。JIACAの認定は3年ごとの更新制ですので、次回審査のときは今回の4つ星評価を上回る最高評価の5つ星を取得したいです。

ただたというのとはとてもいかなければいけないと思います。JIACAの認定は3年ごとの更新制ですので、次回審査のときは今回の4つ星評価を上回る最高評価の5つ星を取得したいです。

■一般社団法人日本保険代理業認定協会(JIACA)
保険代理店の業務品質について、統一基準により認定する「保険代理店認定制度」を創設し、顧客本位の業務運営に取り組む保険代理店を社会に浸透させる。

認定第一号代理店



(損保版)

第1～4月曜日発行
発行所 新日本保険新聞社
大阪市西区靱本町1丁目5-15
(郵便番号550-0004)
電話 (06) 6225-0550 (代表)
FAX (06) 6225-0551 (専用)
購読料 1か月2420円
(消費税、送料込み)
©新日本保険新聞社 2025

78th
Anniversary
since 1947

創業昭和22年

保険・共済業界と
共に歩んで78年